

当資料は 11/1(月)大阪機械記者クラブ、自動車産業記者会にて資料配布をさせて頂いております。

2004 年 11 月 1 日

報道関係各位

## モリタ、世界初の「消防車」を千葉県松戸市に納入 ～消防車と救急車の機能を併せ持つ世界で唯一の車輛～

株式会社モリタ

消防車製造・販売を手がける株式会社モリタ(本社:大阪・東京、代表取締役会長兼社長:新村 鋭男、東証・大証 1 部)では、千葉県松戸市に消防車に普通救急車の機能を加えた世界初の「消防車」を納入させていただくこととなりました。

近年、高齢化社会の進展や世帯人数の減少に伴い救急出動は増加の傾向にあります。そのため出動する救急車が不足し、救急隊員が待機中の消防車に乗車して現場に駆けつけるケースが増えています。また、松戸市においても、救急車の出動回数の増加により、直近の消防隊による救急活動がなされ、救急隊の到着までの空白時間を埋める対応を行っていました。弊社では、このような現状の中、消防・救助活動に従事されている消防士の方々のご要望にお応えすべく、コンセプトカー「消防車(FFA-001)」を 2002 年 7 月に開発。この度、第 1 号車を松戸市へ納入させていただくこととなりました。

納入させていただく第 1 号車は、コンセプトカー「消防車(FFA-001)」をベースに消防庁からのご指導及び松戸市消防局のご要望を取り入れ、救命活動スペースの拡大、レイアウト変更やクーラー及びヒーターの設置など改良を行っています。当車両は、2005 年 1 月に納車を予定。これにより日本で初めて「消防車」が配備され、火災や救急現場への出動が行われていくこととなります。**(当車両は消火と搬送を同時に行えるものではなく、その時々状況により、最も優先される機能で出動するために開発されました)**

弊社では、「消防車」の受注目標を 2009 年中までに 200 台(約 60 億円)としています。「消防車」に関する概要は別紙のとおりです。

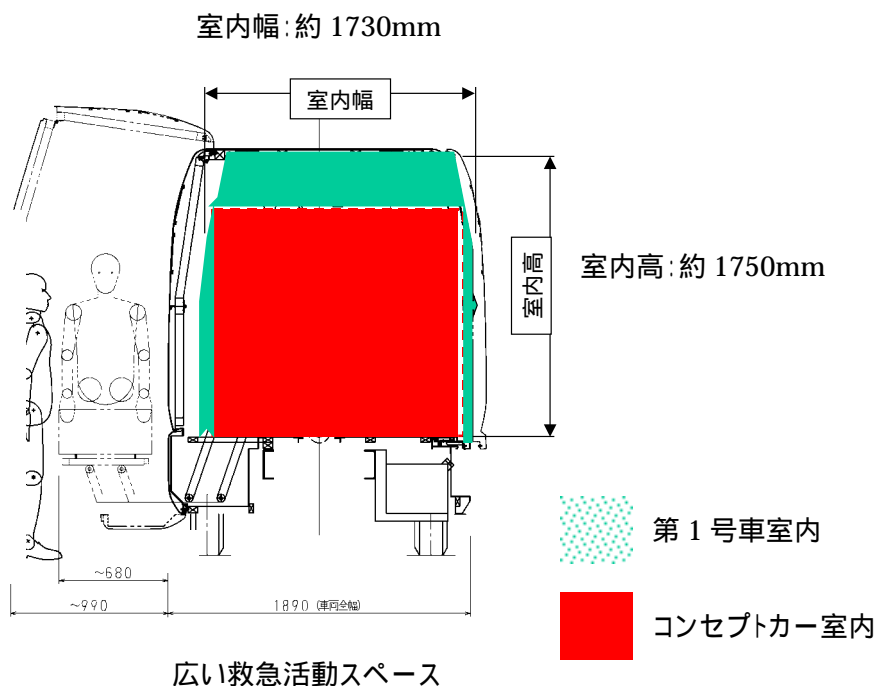
なお、コンセプトカー「消防車(FFA-001)」は、11 月 2 日(火)～7 日(日)まで「東京国際モーターショー(幕張メッセ)」に出展致します。11 月 2 日はプレスデーです。

「消防車」は(株)モリタの登録商標です。

この件に関する報道関係者からの問い合わせ先  
株式会社モリタ 広報室 担当:浦野 TEL:03-5777-5088

## 「消防車」の特長

- ・ 消防車としての機能は一般の「普通消防ポンプ車」と同じで、通常消火する際の放水能力は、最大1分間に2,000リットル(ドラム缶10本分)以上の放水能力を有しております。
- ・ 救急機能は、救急車定置型人工酸素吸入装置、電動吸引器、血圧計、ストレッチャー2台など「救急車」として必要な装備が搭載できます。また、従来の救急車と違い、車両のサイド部分から電動油圧式スイングアームにて要救助者の方をストレッチャーに乗せたまま車両の乗せる構造となっております。
- ・ 第1号車は、消防庁からのご指導により救助活動を行うスペースを大幅に拡大するなどの改良を行いました。これにより、車内での心臓マッサージや要救助者の座位で搬入が可能になりました。また、人口呼吸のため患者頭部に座席を設置、運転席から患者室間のウォークスルー化などのレイアウト変更を行っています。
- ・ 消防車両、救急車両と異なり、全く新しいカテゴリである「消防車」の外観カラーリングは、前方車両のバックミラーより救急車両と認識できるよう車両全面部は白を基調、側面後面は、救急・消防の各機能スペースを白と赤で分けて表示しています。



## 「消防車」の主要諸元及び主要装備

標準希望価格： 3,500 万円

サイズ： 全長 5,700mm 全幅 1,890mm 全高 2,950mm

車輜総重量： 約 5,400kg

定員： 6 名(最大 9 名)

シャシ： 消防車専用消防シャシ

駆動方式： 2WD・A/T 車又は 4WD・M/T 車

水ポンプ： ME-5 高圧 2 段バランスタービンポンプ

性能： 0.85Mpa-2,000L/min 以上、1.4Mpa-1,400L/min 以上(A-2 級)

吸水口： 75mm ボールコック 左右各 1 口

中継吸水口： 65mm ボールコック 左右各 1 口

放水口： 65mm ボールコック 左右各 2 口

主要装備品：

< 消防 >

吸水管 2 本 / 積載はしご / アルミ製軽量ホースカー / 管そう 2 本  
とび口 2 本 / ホース 10 本

< 救急 >

ストレッチャー 2 台 / 折畳式担架 / 酸素吸入装置 / 人工呼吸器  
電動吸引器 / 血圧計 / 創傷処理用資器材 / 救急かばん

< その他車両関係 >

赤色警光灯 / 標識灯 / 電子サイレン(消防 + 救急) / サーチライト

< 添付資料 >

### 消防車、救急車の出動回数について

現在、国内各地の自治体消防には、配備基準に基づいて消防車が約 25,000 台、救急車が約 5,600 台ありますが、救急車の出動回数は年間約 455 万回と消防車の 60 万回に比べ、およそ約 7.5 倍となっています。今後各地の自治体が同車を購入した場合、救急車のレスポンスタイムの短縮や現場(火災・災害・事故など)における利便性の向上、予期せぬ災害や事故への対応など、より効率的な消防・救急戦略の実現が予想されます。(上記データは平成 15 年度版「消防白書」より)

### 株式会社モリタ会社概要

社名： 株式会社モリタ (東証・大証 1 部、証券コード 6455)  
代表取締役会長兼社長： 新村 鋭男 (しんむら としお)  
本社所在地： 大阪本社 / 大阪府大阪市生野区小路東 5 丁目 5 番 20 号  
東京本社 / 東京都港区西新橋 3 丁目 25 番 31 号  
創業： 明治 40 年 4 月 23 日  
設立： 昭和 7 年 7 月 23 日  
資本金： 47 億 4,612 万円  
社員数： 576 名(連結 1134 名) (2004 年 3 月)  
主な事業内容：

#### ポンプ事業部門

はしご付消防ポンプ自動車、化学消防ポンプ自動車及び普通消防ポンプ自動車を主要製品とし、その他各種消防関係車両ならびに特殊車両の製造、販売。

#### 防災事業部門

粉末 ABC 消火器をはじめ、その他各種防災機器の販売並びに防災設備の設計施工、保守点検。

#### 環境関連事業

リサイクル処理施設を主要製品として、各種ごみ処理施設の設計施工及び各種大型油圧機械の製造、販売。

グループ会社： 株式会社モリタエコノス / 株式会社モリタテクノス  
株式会社モリタ総合サービス / モリタ第一機工株式会社  
株式会社モリタ東海 / 株式会社上野モリタ  
株式会社モリタユージー / 株式会社モリタエンジニアリング  
株式会社北海道モリタ / 鹿児島森田ポンプ株式会社  
株式会社モリタ東洋 / 南京農森田環保科技有限公司